

常陸大宮

2015
12
No.135

常陸大宮駅前イルミネーション点灯式

主な
内容

P2～3	平成27年度上半期財政状況
P4～7	行政改革の取り組み状況
P8～9	常陸大宮市創生総合戦略を策定
P10～18	まちのできごと
P22	ふるさと見て歩き

平成27年度上半期の 財政状況を お知らせします

概 要

平成27年度の当初予算は、一般会計が220億円、特別会計が141億4,990万円、企業会計（上水道事業）の収益的収支の収入で8億4,845万円、支出で7億3,312万1千円、資本的収支の収入で4,935万7千円、支出で1億9,187万4千円でした。それに、前年度からの繰り越し及び政策的経費などの補正を加えた予算額は、平成27年9月30日現在で、それぞれ一般会計が249億6,695万9千円、特別会計が144億4,977万7千円、企業会計の収益的収支の収入で8億4,845万円、支出で7億3,312万1千円、資本的収支の収入で4,935万7千円、支出で1億9,187万4千円となっています。

特別会計の収支状況

区 分		予 算 額	収入済額	支出済額
国民健康保険 特 別 会 計	事 業 勘 定	59億616万5千円	26億9,638万3千円	24億7,503万7千円
	診療施設勘定	1億8,099万2千円	9,899万3千円	7,480万3千円
公 共 下 水 道 事 業 特 別 会 計		7億8,966万9千円	2億9,125万6千円	2億3,818万7千円
公 営 墓 地 特 別 会 計		4,140万円	8,233万5千円	1,744万3千円
農業集落排水事業特別会計		5億4,300万8千円	3億2,153万円	2億2,938万5千円
介護保険特別会計		49億6,907万2千円	22億1,641万2千円	19億4,382万1千円
簡易水道事業特別会計		8億7,697万1千円	3億4,500万6千円	2億8,335万9千円
宅 地 造 成 事 業 特 別 会 計		2,950万円	1,314万6千円	1,090万6千円
戸別浄化槽整備事業特別会計		4,500万円	2,467万2千円	2,169万7千円
温 泉 事 業 特 別 会 計		6億1,300万円	4,914万5千円	2,786万9千円
後期高齢者医療特別会計		4億5,500万円	1億5,430万7千円	1億1,019万7千円

上水道事業会計の状況（地方公営企業法第40条の2第1項の規定に基づく公表）

業務状況

給 水 人 口	25,420人
給 水 件 数	10,613件
有 収 水 量	1,522.195㎡/9月末
一日最大配水量	11,968㎡
一日平均配水量	9,830㎡
有 収 率	84.44％

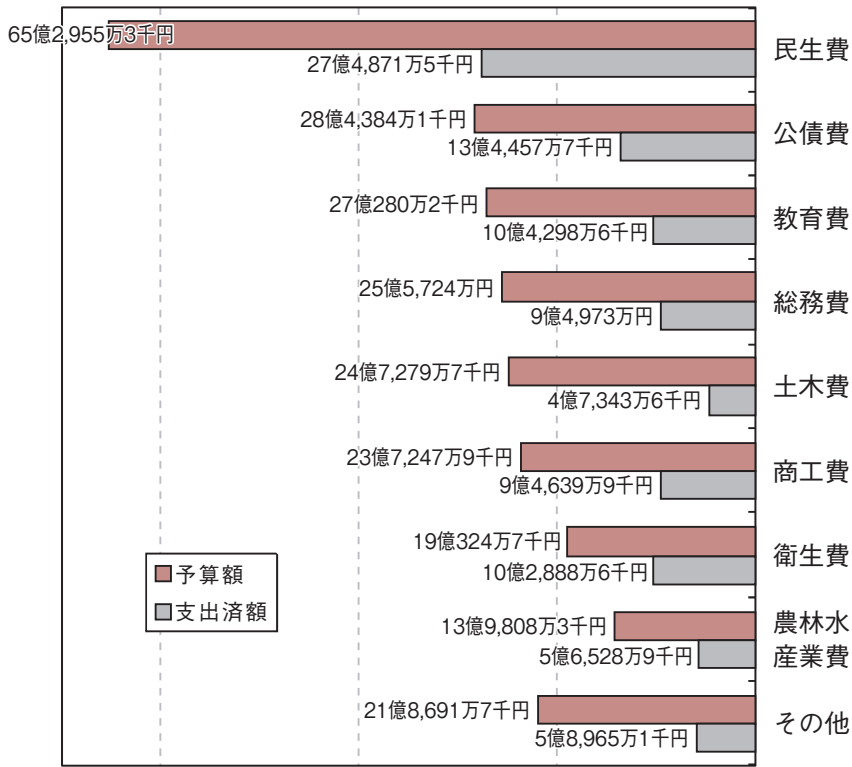
予算の収支状況

区 分		予算額	収支額	収支率
収益	収 入	8億4,845万円	3億7,676万1千円	44.4％
	支 出	7億3,312万1千円	1億5,049万3千円	20.5％
資本	収 入	4,935万7千円	709万3千円	14.4％
	支 出	1億9,187万4千円	4,786万8千円	24.9％

資本的支出額1億9,187万4千円に対して資本的収入額の不足額1億4,251万7千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金で補てんする予定です。

歳出 予 算 額 249億6,695万9千円 支出済額 96億8,966万9千円(執行率38.8%)

※上記の予算額、収入済額及び支出済額は、平成27年9月30日現在のもので、平成26年度から繰り越されたものを含めています。



主な財産の現在高



問い合わせ

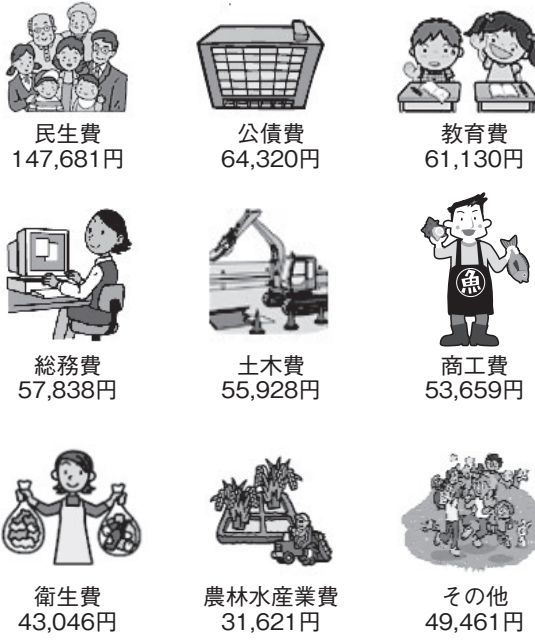
財政課 財政グループ
☎52-1111（内線375）

市債の状況

会計区分	現 在 高	実負担割合
一 般 会 計	(59億5,707万円) 242億1,573万円	24.6％
国保診療施設勘定	(3,973万円) 1億3,243万円	30.0％
公 共 下 水 道 事 業	(17億6,392万円) 30億7,839万円	57.3％
公 営 墓 地	(2億1,710万円) 2億1,710万円	100.0％
農業集落排水事業	(17億5,549万円) 35億5,363万円	49.4％
簡 易 水 道 事 業	(22億355万円) 31億8,893万円	69.1％
宅 地 造 成 事 業	(984万円) 3,280万円	30.0％
戸別浄化槽整備事業	(8,972万円) 1億5,631万円	57.4％
温 泉 事 業	(2,280万円) 7,600万円	30.0％
上 水 道 事 業	(9億238万円) 9億238万円	100.0％
合 計	(129億6,160万円) 355億5,370万円	36.5％

※現在高の上段（ ）内の金額は、市債のうち合併特例事業債や過疎対策事業債など、毎年度の元利償還額の一部を地方交付税で補てんされる市債があり、それらの市債の残高から補てんされる金額を除いて実際に市が負担する見込み額です。

○一般会計予算における 一人当たりの額 564,684円



○市税総額における 一人当たりの額 103,930円

*上記の金額は、平成27年9月30日現在の住民基本台帳人口44,214人で算出しています。

平成26年度 常陸大宮市行政改革の取り組み状況

全国的な少子・高齢化の進展、「基礎自治体への権限移譲」を基本とした事務配分の見直しなど、社会情勢は変化しています。そのため、市民と行政の役割を明確にし、民間の優れた視点や発想を取り入れ、市民満足度が向上するよう、限られた財源を有効に活用する行政経営への転換が必要となっています。

市では、平成23年度から平成27年度の5年間を推進期間とした「第2次常陸大宮市行政改革大綱」を策定し、行政改革の取り組みを推進しています。

平成26年度における主な取り組み状況をお知らせします。

基本方針1 市民との協働によるまちづくり

地域の個性や特色を生かした、地域にふさわしいまちづくりを推進するため、その基本となる「協働のまちづくり基本計画」を策定し、地域住民自らが責任を持って実践できるよう、実情に合った自治組織の育成を図り、市民と行政の役割分担を明確にし、市民と行政による協働のまちづくりを推進します。

①市民と行政の役割分担

- 市民協働のまちづくりを推進する指針を策定するため、市民等で構成する策定委員会を設置し、指針の内容等について協議しました。また、庁内で組織するまちづくり推進連絡会を併せて開催し、市民と行政との連携・協働による一体感のあるまちづくりの方策について、それぞれの視点で検討しました。
- 平成26年7月に、区長会役員会と市で行政懇談会を開催しました。また、区長会の活動として、まちづくり先進事例の視察研修や講話会を開催するなど、地域の実情や市政の課題等について情報の共有化を図り、自治組織の育成を推進しました。

②市民参画（協働）の推進

- 計画等の策定にあたっては、市民の意向を把握・分析し、政策に反映させるため、パブリックコメントを実施し、市民参画（協働）の推進を図りました。

[パブリックコメントを実施した計画]

- ・常陸大宮市新型インフルエンザ等対策行動計画
- ・第2期常陸大宮市地域福祉計画
- ・常陸大宮市子ども・子育て支援事業計画
- ・常陸大宮市第6期介護保険事業計画
- ・第4期常陸大宮市障害福祉計画

- 「第2次常陸大宮市男女共同参画計画」に基づき、審議会等への女性委員の登用を推進した結果、平成26年4月1日現在、22の附属機関等における女性登用率は32.0%となりました。

- 各分野で活躍する市民の方を広く発掘・登用し、豊かな人間関係と地域社会に貢献することを目的として、平成25年度に発足した「常陸大宮市人財ネットワークひたまる先生会」に登録している60人の講師が、市内の団体・グループ・個人等を対象とした講座等を開催しました。

[平成26年度ひたまる先生活動状況]

- ・講座等開催数 24回、受講者数 367人



▲まちづくり指針策定委員会の様子

③茨城大学との連携によるまちづくり

- 市と地域連携に関する協定を締結している茨城大学の知的財産を積極的に活用し、市民・大学・行政が連携・

協働したまちづくりを推進しました。

[取組内容]

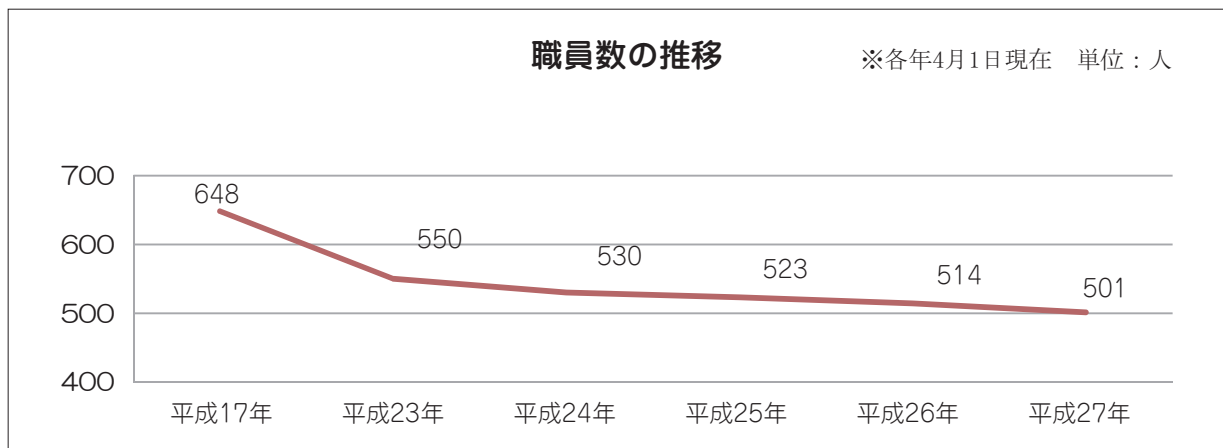
- ・市民大学講座の開催
- ・常陸大宮市まちづくりネットワーク会議の開催
- ・市の審議会や各種委員会に茨城大学の教授等12人を委員として委嘱

基本方針2 効果的・効率的な事務事業の推進

地方分権時代を迎えた地方行政は、一層の効率化と透明性が求められています。限られた財源の中で、新たな行政課題や社会経済情勢の変化に積極的に対応し、最少の経費で最大の効果をあげるため、積極的に事務事業の見直しを行い、簡素で効率的な行政経営を推進します。

①事務事業の見直し

- 行政評価を実施し、「事務事業の見直しによる効率的な行政運営」と「市民への説明責任・透明性の確保」に努めました。(事務事業評価 55事業)
- 5月から6月を強化期間として職員提案制度の奨励を行い、職員の意識啓発と能力開発を推進し、行政運営の効率化及び市民サービスの向上に努めました。(提案数 12件)
- 「常陸大宮市定員適正化計画」に基づき、計画的に職員を削減することで、人件費の抑制及び定員適正化を推進しました。(計画目標：平成22年4月1日 559人→平成27年4月1日 503人以下)
その結果、平成27年4月1日現在の職員数は501人となっています。

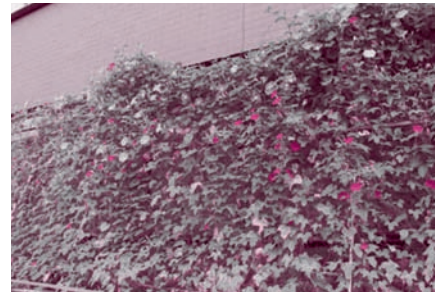


- 下水道使用料の徴収事務委任により、平成26年2月から上水道と下水道の料金賦課業務を一元化するとともに、現地納入通知書の発行を開始し、事務の効率化及び経費の節減を図りました。
- 統合簡易水道事業を進めている現状を踏まえ、簡易水道と上水道の料金の統一を図るため、簡易水道料金の改定を行い、受益者負担の公平化を推進しました。
- 「農地転用」や「農地等の貸借権の解約」等の許可等の農地法関係の事務を県から受託し、市が許認可を行うことで、手続き時間の短縮及び利便性の向上を推進しました。
- 市民に身近な行政サービスについて、事業別行政コスト計算書(15事業)を作成し、コスト意識の醸成を図りました。

②民間委託等の推進

- 山方農林水産物直売・食材供給施設及び美和農林水産物直売・食材供給施設へ指定管理者制度を導入しました。これにより、温泉・温浴施設との一体的な管理運営体制を構築することで、管理運営の効率化及び市民サービスの向上を図りました。

○本市が所有している公共施設について、概要や利用状況、管理運営コストなどの実態を把握するとともに、将来の改修・建替えに必要な経費を試算し、全体的な今後のあり方を検討していくための基礎資料として、「公共施設白書」を作成しました。



▲グリーンカーテン

③経費の節減・合理化

○「第2次常陸大宮市役所地球温暖化対策実行計画」に基づき、環境対策及び省エネによる経費節減に努め、事務事業活動に伴う温室効果ガスの排出抑制に取り組みました。

④電子自治体の推進

○本市と那珂市、かすみがうら市、五霞町の4市町において「いばらき自治体クラウド基幹業務システム」を整備し、平成27年1月から稼働を開始しました。

※自治体クラウドとは、これまで市役所庁舎内に設置していた住民基本台帳や税務などの基幹システムを、すべて民間のデータセンターに移管し、共通化したシステムを複数の自治体で共同利用します。このことにより業務の効率化やシステム運営経費が削減され、災害発生時の情報保全や自治体間で業務の相互連携を図ることができます。

基本方針3 自立した財政基盤の確立

景気の低迷、地方分権の進展を適切に判断し、将来にわたって安定した行政経営を行えるよう財政運営の見直しを図り、企業誘致の推進と市税等の自主財源の確保に全力で取り組みます。

また公債費が多額になり、公債指標は高い水準を示しています。市債の発行にあたっては、中長期的財政展望に立った財政収支見通しを作成し、発行を抑制しつつ効果的な財政運営に努めます。

①自主財源の確保

○副市長を委員長とする未収金対策委員会において、市税等の収納率に目標値を設定し、未収金対策に積極的に取り組みました。また、平成26年5月に策定した「債権管理基本方針」及び「滞納整理マニュアル」に基づき強化月間を設定するなど、全庁的な意思統一と滞納情報の共有化を図り、市民負担の公平化及び市税等の収納率向上による自主財源の確保に努めました。

○一斉滞納整理や差押等の法的措置の強化など、収納対策に積極的に取り組んだほか、茨城租税債権管理機構への事案移管や市営住宅使用料の滞納整理業務委託により、市税等の収納率向上を図りました。

○企業立地フェア及びセミナーに参加し、市内工業団地への企業誘致を推進した結果、宮の郷工業団地で1社が操業を開始、また水戸北部中核工業団地では1社が用地を取得し、地元の雇用創出と自主財源の面において効果がありました。

②市有財産の活用

○市有財産の有効活用と市財政の健全化に資するため、普通財産運用等検討委員会において、遊休市有地等の利活用検討を行い、7件の資産を売却しました。

○地域経済の活性化と自主財源の確保を推進するため、市ホームページや広報紙等で、有料広告を実施しました。

基本方針4 新たな行政需要に対応できる執行体制の確立

新たな行政課題や市民のニーズに対応した施策や事業が展開できるよう、簡素で効率的な組織を基本に、市民に分かりやすく、機能的な組織体制づくりを進めます。

また、市民サービスにつながる権限受託を積極的に行い、質の高いサービスを提供できる行政経営を推進するため、市民の視点に立って課題を解決できる職員の育成に取り組みます。

①組織機構の見直し

○仕事の都合等で平日に来庁できない市民のために、平成26年8月から休日窓口を試行で開設し、実施内容等を検証したうえで、平成27年1月からは本格実施を開始し、利便性の向上を図りました。

②人材の育成と確保

○茨城県への実務研修生の派遣、茨城県自治研修所が行う特別研修や階層別研修への参加、市独自研修の実施や職員の政策形成能力等の向上など、人材育成に取り組みました。

○職員採用情報を市ホームページや広報お知らせ版等に掲載し、市内外から広く有能な人材の確保に努めました。

基本方針5 公正の確保と透明性の向上

行政経営の公正の確保と透明性の向上を図るため、行政手続制度を適正に運用するとともに、行政情報の積極的な提供、監査機能の充実・強化を図ります。

①市民への情報発信と情報の共有化

○情報公開制度の開示状況等について広報紙に掲載し、情報公開制度の普及啓発と情報公開条例の適正な運用に努めました。

[平成26年度開示状況]

・市長部局 13件 ・教育委員会 11件

○市が主催または共催するイベントや、放射線量測定結果などの情報を市ホームページに掲載し、迅速に広く情報発信を行いました。また、市民生活の向上に関する情報をより効果的に発信するために、平成26年8月からツイッターの運用を開始しました。

②監査機能の強化

○市町村アカデミー特別講座に参加し、監査委員の高度かつ広範な知識の習得に努め、機能等の強化を図りました。

平成26年度行政改革取り組みの成果

単位：千円

取組事項	効果額	説明
人件費の抑制	117,740	人件費の削減額
事務的経費の節減等	2,486	事務的経費の節減等による効果額
省エネ対策の推進	67,443	省エネ対策への取り組みによる効果額
電子自治体の推進	25,647	いばらき自治体クラウドシステムの導入による効果額
収納対策の強化	193,490	平成26年度における未収金の縮減額
遊休財産の処分	2,409	遊休市有地の売却額
有料広告の実施	885	有料広告掲載料
計	410,100	

■問い合わせ■ 総務課 行政改革推進室 ☎52-1111（内線321）

人口ビジョン及び常陸大宮市創生総合戦略を策定

我が国においては、急速な少子高齢化の進展に的確に対応し、地方の人口の減少に歯止めをかけ、東京圏への人口の集中を是正することが求められています。また、それぞれの地域で住みよい環境を確保し、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくことが、差し迫った課題となっています。

その課題を解決するため、平成26年11月に「まち・ひと・しごと創生法」が制定されました。そして同年12月27日に、国は長期ビジョンや総合戦略

を閣議決定しました。

これを受け、本市でも、それらを勘案した「常陸大宮市人口ビジョン」及び「常陸大宮市創生総合戦略」を10月27日に策定しました。人口ビジョンは、人口の現状と考えられる将来の姿を基に、今後目指すべき方向を提示しています。また創生総合戦略は、今後5か年の目標や施策の基本的方向、具体的施策をまとめたものです。

【人口ビジョンの概要】

(1) 総人口の推移

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（2013年（平成25年）3月推計）」では、2040年の本市の総人口は29,424人と3万人を割り込むことが推計されています。

(2) 特筆すべき人口問題及び目指すべき将来の方向性

人口問題

- ・ 将来的に年少人口と生産年齢人口が半減
- ・ 人口構造の逆ピラミッド化
- ・ 10代半ばから40歳までの年代の転出
- ・ 低い出生率と婚姻率

目指すべき将来の方向性

全体の方向性 人口構造のバランスを整える

- ①進学・就職で転出する（した）人材のUターン促進
- ②結婚・子育て世代の移住・定住促進、転出抑制
- ③合計特殊出生率の向上

(3) 人口の将来展望

【将来展望】

人口構造のバランスの安定と2060年（平成72年）の総人口約22,200人を見込みます。

【将来展望実現のための目標】

2060年（平成72年）までに合計特殊出生率2.07を目指します。

◎西野由希子創生特別顧問から

「常陸大宮市の未来をみんなで考えるための基礎データ ―常陸大宮市人口ビジョン―」

人口等の各種基礎データを用いて、本市の現在の状況を確認し、将来の展望を市民の皆さんや様々な分野の皆さんと一緒に考えていこう、という考え方が込められています。また政府が提供している「地域経済分析システム」のデータなども活用し、市の現状や課題について、分析や検討ができればと思います。

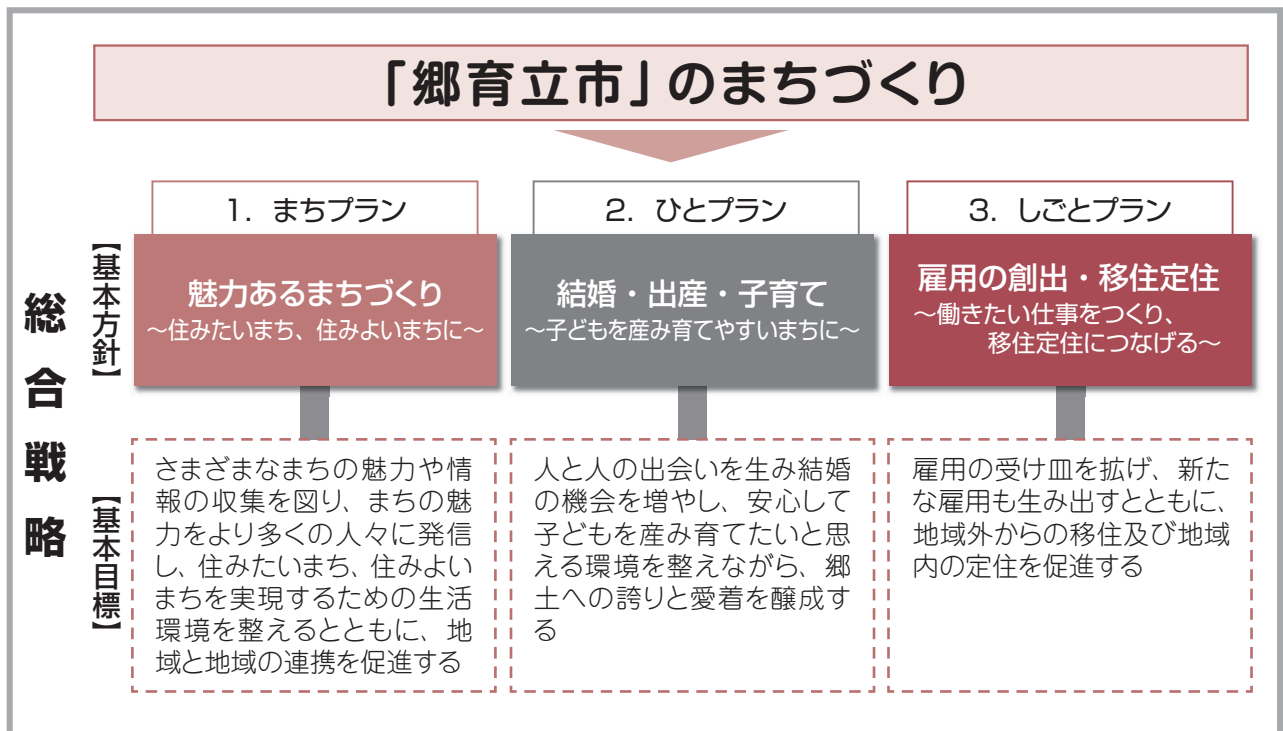
「郷育立市・常陸大宮市の未来を拓くまちづくりプラン ―常陸大宮市創生総合戦略―」

市が掲げる「郷育立市」の考え方を中心に、「まち」「ひと」「しごと」のプランを立てていて、これが大きな特徴となっています。これら3つのプランのもとに施策を置き、具体的な事業に取り組んでいきますが、それぞれのプランが相互に作用していくよう、様々な面で連携を図っていくことにしています。

内容については、今後も定期的に見直しを行い、新規事業の追加や修正等も行っていく予定です。皆さんからご意見等をいただくとともに、本市「総合戦略」全体の推進と各事業の実施にご協力をいただきますよう、お願いいたします。

【創生総合戦略の概要】

創生総合戦略は、「郷育立市のまちづくり」を基軸とする、3プラン8施策35事業を実施します。



1. 「まち」のプラン【12事業】

- 施策1 魅力発見発信プロジェクト (3事業) 常陸大宮市情報収集発信事業ほか
- 施策2 まちの魅力向上プロジェクト (7事業) 医師確保等支援事業ほか
- 施策3 地域間交流プロジェクト (2事業) 地域間交流事業ほか

2. 「ひと」のプラン【16事業】

- 施策4 出会い結婚プロジェクト (9事業) 元気ひたちおおみや結婚応援事業ほか
- 施策5 出産子育て応援プロジェクト (5事業) 乳児育児用品購入助成事業ほか
- 施策6 輝く人づくりプロジェクト (2事業) フューチャースクール推進事業ほか

3. 「しごと」のプラン【7事業】

- 施策7 しごと応援プロジェクト (2事業) 地域ブランド・6次産業化推進事業ほか
- 施策8 移住・定住促進プロジェクト (5事業) 定住促進のための住宅取得奨励金交付事業ほか

※詳しい事業内容等は、市ホームページに掲載しています。

地方創生シンポジウムを開催しました

11月3日、茨城大学で「地方創生シンポジウム」が開催されました。

シンポジウムは、内閣府地方創生推進室・麦島健志氏の基調講演の後、常陸大宮市創生特別顧問・西野由希子茨城大学教授らによるパネルディスカッションが行われ、本市のまちづくりや総合戦略についても紹介されました。シンポジウムの最後には三次市長が主催・共催を代表し、約300人の来場者へ挨拶をしました。



■問い合わせ■ 企画政策課 企画政策グループ ☎52-1111（内線309）

11/3

第27回ふれあい広場

西部総合公園多目的グラウンドで「ふるさと祭りおおみや・第27回ふれあい広場」が開催されました。

この日は爽やかな秋晴れとなり、約4万人が来場しました。ステージやフィールドでは、様々な出し物やミニ四駆大会、みこしの渡御なども行われ、来場者は秋の一日を楽しみました。

また本市と友好都市を結んだ大館市の出店ブースでは、特産品のきりたんぽやリンゴなどが完売し、大館市の魅力発信に一役買ったようです。

さらに2019年に茨城県で行われる国体のマスコットキャラクター“いばラッキー”が「いきいき茨城ゆめ国体」をPR。本市では、なぎなた競技が開催される予定で、水戸第三高等学校なぎなた部が「リズムなぎなた」の演武を披露しました。



子ども会対抗綱引大会



オープニング



大館市出店



水戸三高なぎなた部



アイドルユニットこめひめ

11/12

就職面接会を開催

市文化センターで、求職中の人などを対象にした「元気いばらき就職面接会（主催：茨城県）」が、県内の事業所24社と茨城県警、自衛隊が参加して開催されました。当日は67人の求職者が会場を訪れ、企業の人事担当者と面接をしたり、情報収集をしたりし、双方にとって有意義な面接会となりました。



▲面接会の様子

また会場準備には、ワンダーグーの県北地域店（北茨城・高萩・日立田尻・日立中央・常陸大宮・東海・那珂・ひたちなか）の皆さんに、ボランティアとしてご協力いただきました。ありがとうございました。



ワンダーグーの皆さん ▶

11/9

福祉避難所の協定締結

市内の特別養護老人ホーム「みわ」を運営する社会福祉法人美光会と、「災害時における福祉避難所の設置運営に関する協定」を締結しました。

福祉避難所は、大規模災害が発生した時に、一般避難所に避難した高齢者や障害者など要配慮者が、避難所での生活に支障をきたし、特別な支援や配慮を必要とした場合に開設されます。ただし市が要請し開設する避難所ですので、直接福祉避難所に避難することはできません。

今後も、さらに福祉避難所を確保するよう努めていきます。



▲調印式の様子

福祉避難所一覧

事業主	施設の名称	所在地
常陸大宮市	総合保健福祉センターかがやき	北町388-2
常陸大宮市	緒川総合センター	上小瀬1259
社会福祉法人清河会	特別養護老人ホームサングリーンピア大宮	若林1723-15
社会福祉法人美光会	特別養護老人ホームみわ	鷲子2023-2

10/25

大型テレビを寄贈

水戸市在住で小舟出身の菱沼秀夫さんから、緒川小学校に65インチの大型テレビが寄贈されました。菱沼さんは、自身の目が不自由なため「母校の子どもたちに大画面の迫力ある映像を味わってほしい」との思いで寄贈したとのこと。

翌26日には、緒川小学校で「感謝する会」が開かれ、菱沼さんを招いて、児童による劇や花束の贈呈などが行われました。

寄贈されたテレビは、同校1階のランチルームに設置されています。来校の際にはご覧ください。



▲「感謝する会」で児童と交流する菱沼さん

10/31

小場のハロウィン

旧小場小学校で学童保育を運営するNPO法人虹のポケットは、茨城大学の学生達と連携し、子ども向けイベント「小場のハロウィン」を開催しました。

イベントには、市内在住の親子連れ約400人が参加し、魔女のマントと帽子の製作や読み聞かせなどを楽しみました。また学生プロデュースのお化け屋敷では、長い列がイベント終了まで続き、子ども達の声が校舎いっぱいに響き渡りました。

地域の方々は、「学校にこれだけの人が集まったのは何年振りか。来年は地域も参加しよう」と、早くも次に向けた一歩を踏み出しました。



▲ハロウィンの飾りの前で記念撮影

11/1

優秀教職員表彰

大宮西小学校の星野都子先生が、県教育委員会から「優秀教職員」として表彰されました。これは学習指導や生徒指導の分野で、創意あふれ特色ある指導を実践することで顕著な教育効果をあげ、他の模範となる教職員が表彰されます。本年度は、県内で26人が選ばれました。

星野先生は、道徳教育や特別支援教育の優れた実践が認められての受賞となりました。



▲表彰された星野都子先生

11/8

ごぜんやままつり

「ごぜんやままつり2015」が御前山総合支所敷地内で開催されました。

屋外特設ステージでは、御前山小学校4・5年生による合唱や内田あかりコンサートなどが行われ、多くの来場者でにぎわいました。



◀合唱を披露する御前山小の児童たち

11/13

ニセ電話詐欺をなくそう

市文化センターで「ニセ電話詐欺撲滅にむけて」と題した講演と寸劇、県警察音楽隊のコンサートが開催されました。

現在県内では、多くの高齢者が詐欺の被害にあっています。その件数は10月末現在で310件発生し、昨年を上回るペースで増えています。

この日は約800人が参加し、その巧妙な手口を知ること、詐欺にあわないことを改めて確認しました。



▲現状と対策についての講演

11/13

大館市長が本市を訪問

10月に友好都市協定を結んだ秋田県大館市の福原市長が、本市を訪れました。

佐竹氏と関係の深い小場城跡を視察した後、部垂城の跡地である大宮小学校を訪れました。小学校では、児童たちが歓迎の言葉と花の贈呈を行いました。福原市長は、部垂城の城郭の図と現在の大宮小学校を見比べながら、子どもたちと言葉を交わしました。

その後市役所へ向かい、1階ロビーに展示してある「常陸佐竹氏の歴史」を見学後、三次市長と面会し、両市のこれからの発展について語り合いました。



▲大宮小学校の児童と記念撮影

11/13

県功労者表彰

県勢の発展に著しい功績があった方々を称える茨城県表彰式で、本市からは「盛金WAC協議会」が表彰されました。

盛金WAC協議会は、平成16年10月に設立。廃校となった旧盛金小学校を拠点に、地域文化や歴史ある生活文化を掘り起こし、人が集い学び楽しめる場を創るなど、地域活性化や都市交流を深める活動が高く評価されました。

※WAC…W（ワークキャンプ）、A（アドベンチャーエデュケーション）、C（シティアンドローカルエクスチェンジ）の頭文字です。



▲表彰を受けた盛金WAC協議会

11/23

美和小学校で防災訓練を実施

美和地域の市民や各種団体、小学校や幼稚園の子どもたち約700人が参加して、美和小学校で防災訓練を実施しました。

訓練では、震度6強の地震が発生したと想定し、災害対策本部設置訓練から始まり、避難や救急の訓

練、災害救助対応訓練などを行いました。

こうした実践的訓練や体験を行うことで、参加者は日頃の防災意識の重要性を実感することができたようです。



▲災害対策本部を設置



▲非常炊き出し訓練



▲初期消火訓練



▲止血固定の方法を学びました



▲事故車両からの救助訓練

11/23

北斗星新そばまつり

道の駅みわで、新そばまつりが開催されました。
小雨が降るあいにくの天気でしたが、400食限定のけんちんそばは、午前11時過ぎには完売。模擬店や直売所も多くの人でにぎわいました。



▲試食販売に並ぶ人たち

11/22

やまがた宿芋煮会

第18回やまがた宿芋煮会が開催され、約23,000人の来場者でにぎわいました。

今年の芋煮は、昨年の5,000食から7,000食に増やし、11時から給仕を開始。一時は芋煮を求める人の列で会場が一杯になり、午後1時30分過ぎにはすべて完売しました。また芋煮茶屋やミニカフェも大盛況で、奥久慈の食を堪能した一日となりました。

この日の会場には、県内のゆるキャラが大集合。大子町のたき丸や那珂市のナカマロちゃんなどが、



▲会場いっぱいの人、人…

ひたまと一緒にイベントを盛り上げました。

動画はこちら↓



11/30

「道の駅 常陸大宮」登録証伝達式

「道の駅 常陸大宮」が県内12番目の道の駅として登録され、その伝達式が行われました。伝達式では、常陸河川国道事務所長が市長に道の駅の登録証を手渡しました。



▲伝達式の様子

愛称決定!!「かわプラザ」

応募総数265件の中から、道の駅名称等選定委員会が議論を重ねた結果、選ばれた愛称は「かわプラザ」です。

<選考理由>

市の魅力に五官と心で直に触れて感じることができる、人々が集い賑わうかわのそばの広場・市場をイメージさせる愛称である。



▲定例記者会見で市長が発表しました



いっしょにまちづくり



小口 英司さん

市まちづくりネットワーク「川のめぐみを学び味わうツアー」を体験して

私は現在、医療・介護関係の仕事をしています。近年、この分野でも地域の支え合いが重要となっています。

本市に移り住んで10年、今まで市の事を深く知る機会がありませんでしたが、今回知人の紹介で参加し、アユ・サケ等の生態、漁師さんによる伝統漁法など知る事ができました。特に本市の川の資源は素晴らしく、その中でもイクラ丼には大感激しました。まさか地元でおいしいイクラがとれるとは、私の中で大発見でした。購入場所や調理法なども教えていただき、普段料理をしない私でも、家族サービスとして後日振る舞い、大いに株を上げた次第です。市の魅力を再認識し、多くの人に知ってもらいたいと強く感じたツアーでした。

11/23

川のめぐみを学び味わうツアー

文化庁の文化遺産を活かした地域活性化事業に採択され、常陸大宮市ふるさと文化で人と地域を元気にする事業の一環として、市まちづくりネットワークが「川のめぐみを学び味わうツアー」を実施しました。これは、那珂川の鮭と鮎の生態と伝統の漁法を学ぶもので、約30人が参加しました。

当日は、那珂川河川敷で鮭のおとり漁の仕掛けを見学しながら、那珂川漁業協同組合員の茂垣徳一さんから、漁について説明を聞きました。



▲河川敷で説明する丹羽さん（左）

また県水産試験場の丹羽晋太郎さんからは、川や鮭、鮎の生態の説明を受けた後、鮎などの映像を見せてもらいました。

昼食は、那珂川で獲れた鮎と鮭、イクラを食べ、和やかな雰囲気の中参加者同士の交流も図られました。

今回のツアーで、私たちの身近な川や鮭について深く知ることができ、2つの清流が流れる本市は、鮎と並び鮭という貴重な水産資源を持っているということを学びました。



▲仕掛けを説明する茂垣さん（中央）

12/1 車椅子が寄贈されました

社会福祉法人永寿会ドルフィンが主催する「ドルフィンカップ2015ミックスバレーボール大会」が、11月8日に開催されました。大会は19チームが参加し、2年連続でJBクラブが優勝しました。



◀決勝の様子

この大会は環境と福祉をテーマに掲げ、今年で11回目の開催です。その協賛金から、市社会福祉協議会へ車椅子が2台寄贈されました。

ありがとうございました。



11/22 民俗芸能大会で名演技を披露

県民文化センターの大ホールで、大宮北小学校の4年生17人が、大勢の観客を前に堂々と子ども歌舞伎を披露しました。

この催しは、関東甲信越静1都10県で順次開催されているもので、今年は東京・栃木・群馬・千葉・埼玉・茨城から各都県を代表する民俗芸能保存会が出演しました。

子どもたちは、大人でも緊張する一番手でしたが、全員が物怖じしない大きな声で伸び伸びと役割を果たし、観客から大きな拍手を受けて自信を深めました。



▲演技が終わって皆さんにご挨拶

常陸大宮市文化祭

市における芸術文化の振興・発展と、各種団体の交流を図るため「平成27年度常陸大宮市文化祭」が、10月25日のダンス発表会・囲碁大会を皮切りに茶会や作品展等、各地域で開催しました。

市文化センター大ホールでは音楽祭や芸能発表会、小ホール・ホワイエ他では大宮地域美術展・華道展を同時に開催し、市文化協会に加盟している団体等が日頃の成果を盛大に発表することができました。



第11回 ダンス発表会



第11回 音楽祭



第3回 芸能発表会



山方地域 作品展



美和地域 作品展



緒川支部発表会



御前山地域 作品展

第11回 囲碁大会

開催 日：10月25日

参加 者：41人

優勝 山口 稔（小舟・大宮愛碁会）
準優勝 大曾根好一（北町・大宮愛碁会）
第3位 森島 伍（南町・大宮愛碁会）



▲左から大曾根さん、山口さん、森島さん

第11回 将棋大会

開催 日：11月8日

参加 者：28人



▲入賞した皆さん

【一組】優勝 菊池 達也（田子内町）
準優勝 鈴木 光夫（泉）
【二組】優勝 西野 欽也（抽ヶ台町）
準優勝 浅川 克巳（上大賀）
【三組】優勝 高渡 利男（東富町）
準優勝 櫻井美智雄（中富町）
【四組】優勝 和知 勉（高部）
準優勝 間瀬 修（富岡）

スポーツ大会結果

第17回ミックスバレーボール大会

開催日：11月1日
主催：市バレーボール連盟（青木秀雄会長）
会場：西部総合公園体育館
参加チーム：8チーム

優勝 SOYA 準優勝 プライド
最優秀選手賞 大森 洋一（SOYA）
優秀賞 大森泰典（SOYA）
内田敬子（ステップ）
皆川優希（プライド）
岩間昭一（JBクラブ）



▲優勝したSOYA

第35回常陸大宮市近郊中学校サッカー大会

開催日：11月7日、8日
主催：一般財団法人常陸大宮市体育協会
会場：西部総合公園多目的グラウンド 他2会場
参加チーム：20チーム

優勝 常陸大宮市立大宮中学校
準優勝 東海村立東海南中学校
第3位 那珂市立第二中学校
敢闘賞 水戸市立第三中学校



▲優勝した大宮中学校

第12回常陸大宮市民卓球大会

開催日：11月15日
主催：市卓球連盟（寺門信義会長）
会場：西部総合公園体育館
参加人数：団体の部 9団体、個人の部 160人

【団体の部】

優勝	準優勝	第3位
Over Limit	球友クラブ	美和卓球クラブA

【個人の部】

	優勝	準優勝	第3位	
中学1年男子	瀧本 亘（Over Limit）	樫村 悠希（Over Limit）	大津 栄翔（球友クJr.）	會澤 龍生（球友クJr.）
中学2年男子	平塚 龍（明峰中）	岡山 遥寿（明峰中）	飯村 旬希（Over Limit）	大津 快翔（球友ク）
中学1年女子	宇留野理沙（球友クJr.）	川西 彩聖（球友クJr.）	川西 唯加（球友クJr.）	菊池 心愛（球友クJr.）
中学2年女子	石川杏実花（Over Limit）	吉葉 晴香（Over Limit）	篠田 萌（大宮中）	渡邊かれん（球友クJr.）
男子I部	椎名 知也（球友ク）	相田 真（遊人塾）	箕口 智史（球友ク）	吉葉 貴則（Over Limit）
女子I部	四倉 鈴（球友クJr.）	岡山 千夏（美和卓球ク）	折笠 瑞希（Over Limit）	佐藤 幸美（球友クJr.）
II部男女混合	郡司 範雄（小場卓球愛好会）	郡司みちよ（小場卓球愛好会）	寺門 孝子（小場卓球愛好会）	寺門 建夫（大宮卓球ク）

スポーツ大会結果

第3回常陸大宮市スポーツ少年団駅伝競走

開催日：11月22日
主催：一般財団法人常陸大宮市体育協会
会場：大宮運動公園市民球場
(低学年1,000m、高学年1,600m)
参加チーム：低学年32、高学年37チーム

選手宣誓は、
大宮サッカースポーツ少年団の瀧純平さん ▶



▲低学年の部スタート



▲緊張感漂うスタート前



▲懸命に走ります！

《低学年男子の部》

順位	チーム名	タイム
1	大宮サッカースポーツ少年団A	22分29秒
2	大宮サッカースポーツ少年団B	23分29秒
3	瓜連サンダース	23分33秒
4	大宮サッカースポーツ少年団C	24分18秒
5	金砂郷ミニバススポーツ少年団	24分21秒
6	山方サッカースポーツ少年団A	24分21秒

《高学年男子の部》

順位	チーム名	タイム
1	大宮サッカースポーツ少年団A	30分48秒
2	常陸大宮Shining Boys A	31分49秒
3	瓜連サッカースポーツ少年団B	32分01秒
4	大宮サッカースポーツ少年団D	32分02秒
5	大宮サッカースポーツ少年団B	32分03秒
6	美和スタッピーズスポーツ少年団A	32分37秒

《低学年女子の部》

順位	チーム名	タイム
1	常陸大宮フェアリーズスポーツ少年団	23分34秒
2	常北MBC	23分43秒
3	長堀ミニバス	24分08秒
4	あおいJr.ミニバススポーツ少年団	24分42秒
5	金砂郷ミニバススポーツ少年団	25分47秒
6	大宮水泳スポーツ少年団	30分27秒

《高学年女子の部》

順位	チーム名	タイム
1	常陸大宮フェアリーズスポーツ少年団A	31分56秒
2	長堀ミニバスA	32分50秒
3	久慈スポーツ少年団	33分02秒
4	長堀ミニバスB	33分08秒
5	常北MBC A	33分16秒
6	あおいJr.ミニバススポーツ少年団A	33分33秒

第11回常陸大宮市シニアテニス大会

開催日：11月15日
主催：市テニス連盟（片野良平会長）
会場：西部総合公園テニスコート

【男子ダブルス】

優勝 池崎 守・荒井 稔
準優勝 大河原正美・落合 康明

【女子ダブルス】

優勝 近藤 智子・関 昌子
準優勝 金子由紀子・金子佐久美



▲男子の部優勝の
池崎・荒井ペア



▲女子の部優勝の
近藤・関ペア

中学生が大活躍！！ 教育長賞おめでとう

サッカー

大宮中

県中学校新人体育大会で 3 位

10月29・30日、ト伝の郷運動公園（鹿嶋市）で行われた県中学校新人体育大会で、大宮中学校サッカー部が第3位の成績を収めました。



卓球

県中学校新人体育大会

10月27・28日、霞ヶ浦文化体育館で県中学校新人体育大会卓球の部が行われ、それぞれ入賞しました。

ダブルスベスト 8



大宮中

◀ 西野侑真さん（右）
根本怜音さん（左）

団体ベスト 8

大宮中

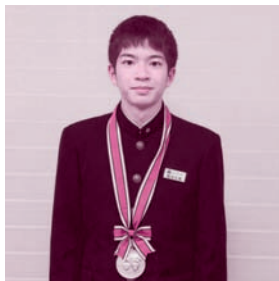


陸 上

山方中

県中学校新人体育大会で 6 位

10月2日、石岡総合運動公園陸上競技場で県中学校新人陸上競技大会が行われ、山方中学校の菊池冬馬さんが第6位の成績を収めました。



種目は共通男子
3000 m で、タイムは
9分35秒16でした。

◀ 菊池冬馬さん

大宮中



シングルス3位、6位

◀ 四倉鈴さん（右）
會澤榛夏さん（左）

明峰中



シングルスベスト 8

佐藤幸美さん ▶

インタラクティブフォーラム

県大会に出場

8月21日、筑波学院大学で英語インタラクティブフォーラムの茨城県大会が行われ、水戸地区大会を勝ち抜いた市内の中学生2人が出場しました。

第二中



▲ 太田雄蔵さん

明峰中



▲ 大瀧拓良さん

県交通安全ポスター

茨城県知事賞を受賞

第二中



県交通安全ポスター
作品コンクールで、第二中学校の菊地耕平さんが茨城県知事賞を受賞しました。

◀ 菊地耕平さん

今月の耳より情報 No.9



テーマ

～ここのスイーツが絶品～



スイーツといったら、皆さんは何を思い浮かべますか？

甘～い生クリームたっぷりのお菓子？“あん”を使った和菓子？

今回は、昔ながらの味を守り続けている緒川地域の和のスイーツを紹介します。

【堀江製菓 いしごろも本舗】

こし餡を丁寧^{あん}に仕上げ、砂糖の衣でくるんだ手作りの和菓子です。常陸大宮の里山の小さな和菓子屋で、作り続けて親しまれ続けて70年。厳選した大豆を昔ながらの製法で丁寧に作る自家製餡。それを更に独特の製法で仕上げ、特別な蜜を潜らせて作ります。原材料は大豆と砂糖のみ。

素朴でどこか上品な和菓子です。



石衣 (いしごろも)

【朝日屋菓子店】

一番人気が、味基^{あじもと}粉で作った舌触りなめらかな昔懐かしい鯛の打物菓子です。

昭和34年の創業以来、北海道産大豆を練り上げた餡を使い、機械を使わず手作り一筋で、今日に至っています。添加物を使用しないため日持ちははしませんが、体には大変やさしい和菓子です。どうぞご賞味ください。

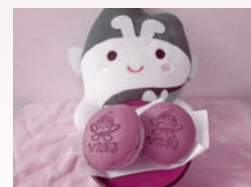


鯛の打物菓子

【お菓子処 ふるさわ】

市のマスコットキャラクター「ひたまる」の焼印を付けたどら焼きが、今の人気商品です。

常陸大宮のお土産にする方も多く、ボリュームがあるので、おやつとしても喜ばれています。ショッピングセンターピサー口店でも販売していますので、ぜひお立ち寄りください。



マスコットキャラクター
焼印入りどら焼き

VOL.18

職員のつぶやき ～職員リレートーク～

都市建設課に配属された、小林紘也です。

師走に入り、今年も残すところあとわずかとなりました。寒さが身にしみるこの季節、体調管理を怠らずに新たな気持ちで新年を迎えたいと思います。

私は都市建設課管理グループで、市道の管理、市道に関する各種申請に係る事務処理等を行っています。現地確認のために現場に出向くことも多く、市内の地理を少しずつですが覚えられるようになってきました。

まだまだ学ぶことが多く日々勉強ですが、早く一人前になれるよう業務に邁進していきたいと思っています。



今日も現地確認です



海外通信 from マラウイ No.2

今年1月に、国際協力機構（JICA）の青年海外協力隊員として、アフリカのマラウイに派遣された小河原香織さん（市内野上出身）から、2通目のお便りが届きました。

小河原さんからメールが届いた11月初旬は、マラウイでは体にこたえる暑さが毎日続いているとありました。一年で最も暑い時期のようです。

別れ 小河原 香織



今回は、私のボランティアの配属先の紹介から始めようと思います。

私を含めて、3人が勤めているシャープバレTDC（教師研修センター）。その1人、PEA（初等教育アドバイザー）と呼ばれる方が、10年の任期を終えて今学期この勤務地を去りました。

私が彼に初めて会ったのは、この配属先にあいさつに来た時です。約束の時間に30分も遅れて着いた私を、笑顔で迎えてくれました。2回目に再び出向いた時、今度は遅刻をしないように速足で歩いている私の目の前に、先生2人が迎えに来てくれました。

彼との別れを私が残念に思っている理由は、目の前に座った相手の気持ちをほぐす温かい言葉選びと、物事における絶妙なタイミングの計り方にあります。私たちには、もちろん言葉の壁があります。しかし初めて私を職員に紹介してくれた後、「伝える伝わらないにかかわらず、思ったことは口にしない」と同席した職員が席を外してから、そっと助言してくれました。

私はこの2年間、彼から色々学べるとわくわくしていました。シャープバレTDC内に掲げられている手書きの掲示物の分かり易さや、出張の多い彼が

久しぶりに事務所にいる時の来訪者の多さと、その方々への対応の柔らかさを目の当たりにしていたからです。

ここシャープバレには電気がありません。最近、メインロード周辺には電線が通ってきていますが、お金がなければ自分の家や学校に電気をひくことはできません。そんな情報源が限られる地域で、どういう風に彼は学んできたのでしょうか。

それを彼は「経験がなせる技だ」と質問した私に言い切りました。その答えを聞いた時、正直かすかな疑いがありました。しかし彼と過ごすにつれて、よく相手の話を聞く以前に、よく人を見ていることが分かりました。この地に来た私のような外国人でも誰に対してもです。最初の疑いは、いつの間にか信頼に変わっていました。

TDC内の掲示物には、赤い色が目立ち、太陽のように温かい彼を連想してしまいます。私たちは、それぞれ違います。共にした時間、私は自分の気持ちを口にする努力をし続けたのだろうか、と自問しています。今日、皆さんは誰と気持ちのやり取りをしましたか。

私たちの事務所に、また新たなPEAが来ます。

見守り 新鮮情報

事例1 「マイナンバー制度の導入に伴い、**個人情報**を調査中である」と言って、女性が来訪し、**資産**や**保険の契約状況**などを聞かれた。本当に**行政機関**がそのような調査をしているのか。
(60歳代 女性)

事例2 若い男性から「マイナンバーが順次届いており、みんな手続きをしているが、あなたは手続きしたか」との電話があった。「まだしていない」と答えると、「**早く手続きをしないと刑事問題になるかもしれない**」などと言われ、**不審**に思った。

(70歳代 男性)



マイナンバー制度に 便乗した詐欺に注意

ひとこと
助言



見守るくん

信じちゃダメ

- マイナンバーの通知や利用手続き等で、国や自治体の職員が家族構成、資産や年金・保険の状況等を聞くことはありません。
- 不審な電話はすぐに切り、来訪の申し出があっても断ってください。
- 万が一金銭を要求されても決して支払わないようにしましょう。
- 少しでも不安を感じたら、すぐにお住まいの自治体の**消費生活センター**等にご相談ください(消費者ホットライン188)。

*なお、マイナンバー制度の問い合わせは、内閣府のマイナンバー専用コールセンター0570-20-0178で受け付けています。

本文イラスト：黒崎 玄

見守り新鮮情報 第235号(2015年10月20日)発行：独立行政法人国民生活センター

【問い合わせ】

- 茨城県消費生活センター ☎029-225-6445
 - 常陸大宮市消費生活センター ☎52-2185(直通)(本庁商工観光課内)
- ※月・水・金曜日は消費生活相談員が対応します。

那珂川のサケ（鮭）

去る11月23日、御前山地域野口の河川敷と御前山青少年旅行村で、「川のめぐみを学び味わうツアー」と題する小さな学習会が開催されました。那珂川漁協組合員の茂垣徳一さんと、県水産試験場内水面支場の丹羽晋太郎さんより、サケとアユの生態や増殖の試み、那珂川で行われている伝統漁法について詳しい説明を受けた後、参加者はイクラなど那珂川のめぐみの美味しさに驚き、舌鼓を打ちました。

◆常陸のほまれ 那珂川のサケ

秋から初冬にかけては、サケが生まれた川を遡上する季節。日本で毎年遡上が認められる太平洋側の南限は利根川とされており、古くから著名なのは、本市を流れる久慈川と那珂川です。

江戸時代末から明治初年にまとめられた『新編常陸国誌』には、次のように記されています。

「鮭は越後国と常陸国で産するものが最上で、常陸国では久慈川・那珂川・霞ヶ浦をはじめ多くの河川に遡上するが、那珂川の鮭が最も美味である」

水戸藩では、初代藩主徳川頼房が那珂川のサケを幕府と朝廷に献上したことが通例となり、毎年最初の漁で獲ったサケを献上していました。また、わが国におけるサケの人工ふ化と放流も、明治9年（1876）の那珂川での試験が始まりとのこと。

◆川でサケを捕ること、まかりならん

冬に川でふ化したサケは春に海へ下り、オホーツク海など北方の海を回遊しながら成長し、わずか3%の回帰率で、多くが4年目に生まれた川を遡り産卵します。この親魚を保護し漁業資源を守るため、昭和26年に制定された「水産資源保護法」の第25条で、河川でのサケの採捕は禁止されました。

しかし、人工ふ化を行うための親魚確保を目的として、農水大臣の認可を受けた漁協組合員の漁は認められており、久慈川のサケは購入できませんが、那珂川のサケは食用として指定販売業者から購入できます。

◆忘れられつつある常陸大宮のサケ文化

「サケノオ」。年配の方なら、親しみを込めて今でもサケをこう呼びます。「サケノウヲ（鮭の魚）」が変化したものでしょう。

現代の私たちが映像で見るアラスカの川のように、かつては久慈川や那珂川をサケが大群で遡上していたと考えられます。そのような土地に住んでいた私たちの祖先にとって、食料が乏しくなる冬に向け、サケはたいへん貴重な魚であり、独自のサケ文化を作り上げたと思われます。その遺風として、歳暮の塩引（新巻）鮭の贈答や、多くの家々で正月のハレの食事に焼いた塩引が食されること、また、初午に県境の地域で作られるシモツカレの食材として、塩引の頭がなくてはな

らないことなどがあげられます。

しかし、法律によって私たちの食卓から久慈川や那珂川のサケが遠い存在となってしまった上、近年では、塩引鮭の贈答はめっきり減り、正月の食事も、家例を守る家は少なくなっています。加えて、流通の発達により人々の嗜好が脂の乗った魚へと移り、川に戻って脂が落ちたサケに対する評価は下がり、那珂川のサケを好む人は少なくなっています。西日本の河川でも捕れるアユより希少価値の高いサケ、遡上は増えているのに何とも勿体ないではありませんか。

◆サケの伝統漁法と野田の鮭留

市内那珂川のサケの漁法には、オトリ網漁（別名チリン漁）、流し網漁、イクリ網漁、ヒボリ（火振り）漁などがあります。このうち、操船や勘どころに熟練を要するイクリ網漁とヒボリ漁は、現在ほとんど行われていません。いずれの漁も、サケの習性に基づいて夜に行われるため、その様子を見ることは困難です。

また、平成10年頃まで、栃木との県境付近で行われた建網漁は、舟道を除く川幅一杯に張った建網でサケをいくつもの大きな角型のウツボ（筥）に誘導し採捕するもので、朝夕2回ほど水揚げを行っていました。この建網のため、栃木県にはほとんどサケが上らなかったとのこと。この不公平な漁は、水戸様のご威光が元であり、初代頼房の時代より、河口付近と常陸・下野国境に、鮭留といって竹を編んだ築^{やな}を設置し、那珂川の鮭を水戸藩で独り占めしていた名残でした。



▲那珂川に仕掛けられたサケのオトリ網

◆サケ文化の復興と川環境の改善

江戸時代に常陸とともに最上のサケが捕れるとされた越後（新潟県）では、村上市が^{みおもてがわ}三面川のサケ漁とサケ文化を資源として活用し、「村上といえば鮭！」を合言葉に力を入れています。塩引にするサケは、適度に脂の抜けた遡上サケでないと、酸化が進んで味が落ち、独特のうまみも生まれないとのことです。

今年の盛夏、市内の那珂川と久慈川には、藻類が異常に繁殖し、アユやウナギの姿が消えました。私たちから川のめぐみが遠のくほど、川に対する思いも薄れます。積極的な水産資源の活用が地域活性化の糸口となり、また、本当の“清流”を取り戻すことにもつながっていくのではないのでしょうか。

※オトリ網漁：垣網中のおとりのメスに誘われ仕掛けに入ったサケが、水中の脈糸に触れると、鈴が鳴るとともに入口の網が落ちる仕組み。

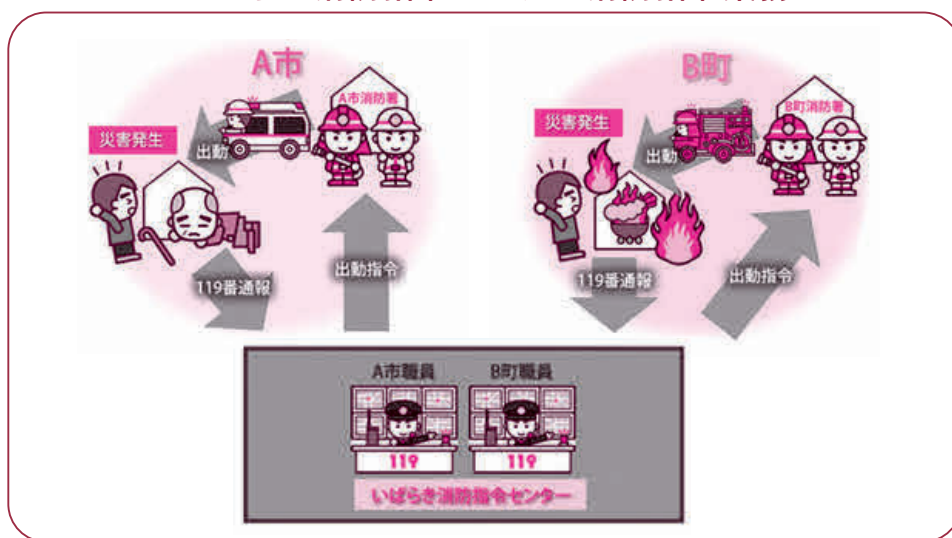


いばらき消防指令センター 119番通報受付開始

県内20消防本部33市町で、消防指令業務を共同運用するため「いばらき消防指令センター」を整備しているところです。

それに伴い、常陸大宮市の119番緊急回線は、平成28年1月12日から切替えになり、「いばらき消防指令センター」で受け付けすることになります。119番通報時の住所は『市町名(常陸大宮市)』から伝えてください。

いばらき消防指令センター消防指令業務



消防ポンプ自動車が新しくなりました

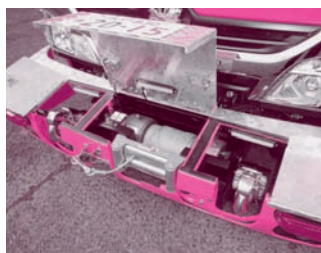
東消防署に予備車として配備されている車両が老朽化したため、車両整備計画に基づき消防ポンプ自動車が新しくなりました。今回新しくなった車両は、配置換えにより西消防署に配備され、11月2日から運用を開始しています。新たに搭載・配備された資機材に、600リットルの水槽、CAFS装置、ウインチ、レスキューコンビツール、三連梯子などがあり、災害に対してより効率的に対応できるようになりました。



▲新しい車両



▲CAFS装置



▲ウインチ



▲レスキューコンビツール

■問い合わせ■ 消防本部 警防課 ☎53-1153

ひたまるがゆく

ゆるキャラグランプリ2015

インターネットで投票が行われていた「ゆるキャラグランプリ2015」の投票結果が11月23日に発表され、ひたまるは総合で1,727キャラクター中1,057位、ご当地キャラクター部門で1,092キャラクター中707位という結果でした。応援していただいた皆さん、ありがとうございました。

そして第1位に輝いたのは、静岡県浜松市マスコットキャラクター「出世大名康くん」でした。年々参加キャラクターが増えている「ゆるキャラグランプリ」。来年はもっとたくさんの方に投票してもらえよう、常陸大宮市のPRをがんばろうと思うひたまるでした!!



▲ほかのゆるキャラに負けないぞ!
(やまがた宿芋煮会にて)



スポーツクラブひたまる 25 情報局 Vol.16

12月は、2、9、16日にピラティス教室を開催し、各回約100人の参加者が集まりました。ピラティス教室は継続開催の声が多いため、今後も継続的に開催します。また5日には、緒川ふれあいの森でノルディックウォーキング教室を開催。当クラブとひたちなか市のみなとwaiwaiクラブから約70人の参加者が集まり、全身の筋肉で効果を体験しました。同月12日には、旧大場小校舎と体育館のワックス掛けと大掃除のボランティア活動を行いました。



■問い合わせ■ マネージャー・小室 ☎080-5075-3921
生涯学習課 スポーツ推進グループ ☎52-1111(内線342・343)

ミヤマシキミ



(ミカン科ミヤマシキミ属)



御前山ビオトープ周辺の植物等

暖かい地域の低山の林内に生える常緑の低木で、高さは1～1.5mになります。葉は厚く枝先を集って付きます。葉の表面には光沢があり、裏面は透かして見ると透明な点(油点)があります。花は雌雄別株で、4～5月頃、枝先に白くて香りのある花がたくさん咲きます。果実は5～8mmほどの球形で、10～2月頃に赤く熟します。葉や実はアルカロイドを含み有毒です。かつては煎じた汁を、虫下しに使ったそうです。

(写真・データ提供 御前山ダム環境センター)

常陸大宮市の人口

(12月1日現在・推計常住者)

総人口 42,359人
(男 20,871人 女 21,488人)
世帯数 16,358世帯



QRコードから市のツイッターがご覧になれます

広報 常陸大宮 12月 第135号

発行日 平成27年12月25日

発行/常陸大宮市 編集/秘書広聴課

〒319-2292 茨城県常陸大宮市中富町3135-6

TEL 0295(52)1111 FAX 0295(53)6010

E-mail email@city.hitachiomiya.lg.jp

URL http://www.city.hitachiomiya.lg.jp/



再生紙と植物油インクを使用しています。